

## 発寒村の遺跡発掘

環状石垣と書かれたこの遺跡は昭和7年の11月に琴似村の史跡調査に訪れた北海道大学の高倉新一郎先生が発寒神社の北東の小丘上にストーンサークル状に配列した石を発見した事に始まる。その後の調査によりストーンサークルは大半破壊され十分調査をすることは不可能であったらしい。

調査の際に先住民族の墳墓と思われる墓を2基発見したと記録にある。当時の発掘記録を見るとこの遺跡はストーンサークルと墳墓が作られた時機に隔たりがあると推論されている。墳墓の副葬品の中に11種類の支那銭が発見されており貨幣の製作年度や流通時機から鎌倉時代から徳川初期にかけて造られたとみている。

ところがストーンサークルが造られた年代は推定困難と書かれている。近代アイヌの墳墓形式に周囲に石を周らすような様式がないので造った民族は不明という事らしい。札幌市内では珍しく時代特定ができない遺跡が発掘されたので当時の新聞を賑わせたらしい。



### 発寒神社

【社殿様式】三間流入母屋造

【社殿面積】68坪(225㎡)

【祖霊殿】12坪

【境内面積】1,547坪(5,104㎡)

【氏子世帯数】18,000世帯

【崇敬者数】6,000人

【交通機関】JR函館本線発寒中央駅下車徒歩3分

【所在地】〒063-0831

札幌市西区発寒11条3丁目1番33

Tel 011-661-3973 Fax 011-661-9622

【例祭日】

春祭5月15日 秋祭9月15日

【祭神】

豊受大神(とようけのおおかみ)

倉稻御魂大神(うがのみたまのおおかみ)

【旧社格】無格社